

# 平成19年度 教育予算のあらまし



平成19年度の教育関係の予算は、前年度比10.5%増の234億2,687万円です。一般会計歳出予算に占める割合も、前年度より0.6%ポイントアップして10.9%となりました。

教育委員会の政策・事業は、大田区長期基本計画を実現するための「大田区実施計画(平成19~21年度)」や「教育推進プラン」に基づいており、大田区教育委員会は、本年度も大田区の教育目標を実現するために着実に取り組んでいきます。

今号では、教育目標を達成するために掲げた5つの基本方針の視点から、主な事業を紹介します。

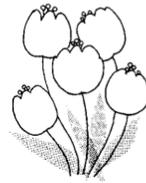
# おおたの教育

大田区教育委員会広報

平成19年4月1日発行 第91号

編集発行：大田区教育委員会

〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目13番14号  
TEL 5744-1111(代)



## 人間尊重と社会貢献の精神の育成

★小学校スクールカウンセラーの全校派遣 ……9,777万円

いじめや不登校など子どもたちの心の問題の解決のためなどに、小学校スクールカウンセラーを中学校同様全校に派遣し、これまで以上にきめ細やかに対応します。

★学校特別支援員の配置 ……1,874万円

特別支援教育への学校体制を築きながらも、さらに特別な支援を必要とする通常学級に在籍する学習障害(LD)・注意欠陥/多動性障害(ADHD)・高機能自閉症の児童・生徒を対象として、学校特別支援員を派遣し、指導の充実を図ります。

★中学生の職場体験 ……62万円

職場体験は、地域の事業所の協力を得て、生徒の社会性や勤労観・職業観を養うことを目的に実施しています。

本年度は、さらに充実した社会体験の場とするため、昨年度より1日長い3日間以上の職場体験を全ての中学2年生が行います。



## 豊かな個性と想像力の育成

★おもしろ理科教室(理科特別支援員)事業 ……1,328万円

小学5・6年生の理科授業に、東京工業大学などの理工系大学や企業の協力を得て、理科特別支援員を配置します。最先端の科学技術に関する実験を見たり、体験的な活動を行うことにより理科の楽しさを教え、児童の興味・関心を高める授業の充実を図ります。

★外国人による英語指導 ……5,897万円

小学校英語活動、中学校英語授業で児童・生徒の国際感覚や関心を高め、英語実践力の向上を図ります。

★習熟度別指導の推進 ……6,963万円

小学3年生以上の算数、中学生の数学・英語の授業に講師を派遣し、児童生徒の習熟度に応じた少人数の学習を実施します。



★学校図書館の充実 ……3億5,000万円

読書による国語力の向上と豊かな人間性を育むため、平成17年度から学校図書館の充実を全国に先駆けて3か年計画で進めてまいりました。最終年度を迎え、3年間で総額10億円、約60万5千冊の図書が学校に整備されることとなります。

## 生涯学習と文化・スポーツの振興

★(仮称)海苔資料館の建設 ……4億7,576万円

平成19年4月に開設する「大森ふるさとの浜辺」に、海辺の歴史や伝統を継承する(仮称)海苔資料館を整備します。

構造・階数 鉄筋コンクリート3階建  
延床面積 約1,354㎡  
竣工予定 平成20年3月



★大田区総合体育館整備資金積立基金積立金 ……30億円

現在の大田区体育館を建て替え、「するスポーツ・見るスポーツ」を基本コンセプトとした総合体育館を整備します。建設には多額の資金を必要とするため、積立基金を設置して財政の健全化を図っていきます。平成23年度オープン予定

★図書館への指定管理者の導入 ……7億8,470万円

図書館のさらなるサービスの向上を図るため、平成19年4月から大田図書館を除く14の地域館に指定管理者を導入します。各指定管理者は民間のノウハウを活かし、施設維持を含めた管理運営を行います。

## 教育への区民参加と学校経営の改革

★教育環境の整備 ……15億4,785万円

- ☆羽田中学校校舎などの改築設計 5,559万円
- ☆校舎外壁、屋上、フェンスなどの改修(7校) 9億1,004万円
- ☆トイレ改修(6校) 2億1,138万円
- ☆屋上・壁面緑化(壁面4校・屋上4校)・環境緑化 1億101万円
- ☆校庭整地(6校) 2億6,983万円

★学習サポーターによる教育支援 ……236万円

地域の教育力を活かし、土曜日の児童の居場所づくりをします。保護者や地域のみなさんが学習サポーターとして、学習の場や機会を設け、学習サポート事業を行います。



## 家庭教育の振興と青少年の健全育成

★家庭・地域の教育力を高めるための支援 ……375万円

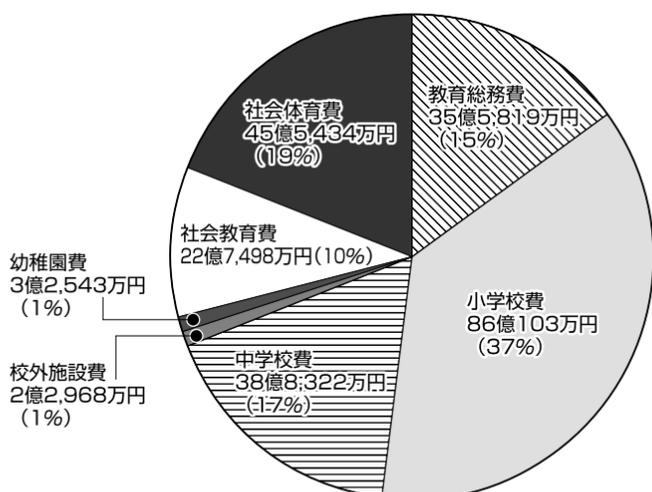
家庭や地域の子どもに対する教育力を向上させるため、子育てに関わる様々な課題についての話し合い学習や講演会などの事業を支援します。

## その他

★私立幼稚園等振興事業 ……2億7,534万円

私立幼稚園等教材・園具補助金、私立幼稚園等園児健康管理費補助金などの充実を図ります。

平成19年度教育予算総額  
234億2,687万円(100%)



## 大田区における特別支援教育への基本方針

大田区における特別支援教育は、これまでの心身障害教育の一層の充実を図るとともに、学習障害(LD)・注意欠陥/多動性障害(ADHD)・高機能自閉症など(以下「LDなど」という)を含む障害のある幼児・児童・生徒一人ひとりの特別な教育的ニーズを把握し、個々のもつ能力や可能性を最大限に伸ばすため、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行います。

# 大田区における特別支援教育について

## —大田区特別支援教育検討委員会 報告より—

大田区教育委員会は、平成17年10月に学識経験者や障害者支援団体、都立養護学校長、保護者の代表、区立幼稚園・小・中学校の代表、療育機関代表、教育委員会事務局などによる「大田区特別支援教育検討委員会」を設置し、大田区における特別支援教育の在り方について検討を行い、平成19年1月に報告書をまとめました。

今後は、本報告書を基に特別支援教育を推進するとともに、課題について検討を深めてまいります。

平成19年度から、学習障害(LD)及び注意欠陥/多動性障害(ADHD)、高機能自閉症などを含めた障害のある児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに応じて、適切な教育支援を行う特別支援教育への転換が図られます。

報告書の詳しい内容は、教育委員会ホームページでもご覧いただけます。  
ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>  
指導室 電話 5744-1435 F A X 5744-1535

## I 大田区における特別支援教育体制の整備

### 1 心身障害学級から特別支援学級へ

◇平成19年度から心身障害学級を特別支援学級に名称変更し、心身障害学級が果たしてきた取り組みを踏まえ、特別支援学級へ移行します。

◇これまでの固定の心身障害学級児童・生徒の状況や近隣地区の設置校の状況を考慮し、今後の整備について継続して検討します。  
◇情緒障害学級においては、通級する児童・生徒数が年々増加していることや通学の負担を考慮し、新たな通級による情緒障害学級の計画的な配置を進めます。平成19年度は新たに羽田・糀谷地区の中萩小学校に、通級による情緒障害学級を設置します。今後も地域を考慮し、増設などの検討をします。

◇LDなどの障害のある児童・生徒の通級による指導時間については、年間10から280単位時間の範囲で指導が可能になり、今後、柔軟な通級による指導のあり方を検討します。

### 2 通常の学級における教育の充実

◇平成15年度東京都教育委員会が実施した「通常学級に在籍する児童生徒の学習障害(LD)・注意欠陥/多動性障害(ADHD)・高機能自閉症などに対応した教育的支援に関する研究」における調査によれば、知的に遅れはないが、学習面や生活面で、著しく困難を示す児童・生徒の割合は、約4%を示しています。こうした児童・生徒に対する通常の学級への支援体制を構築します。



◇校内の支援体制の充実を図りつつも、通常の学級において、さらに特別な教育支援が必要と教育委員会が判断した学習障害(LD)・注意欠陥/多動性障害(ADHD)・高機能自閉症のある児童・生徒を対象に、特別支援員(区非常勤職員による学習支援員)を派遣します。

### 3 交流及び共同学習の促進

◇特別支援学級に在籍する児童・生徒と通常の学級に在籍する児童・生徒の交流及び共同学習の機会を充実します。

### 4 専門家による巡回相談・支援

(1) スクールカウンセラーによる巡回相談・支援

◇臨床心理士などの資格をもち、発達心理の専門性を備えたスクールカウンセラーを各学級へ派遣し、支援体制を整えます。中学校には、東京都が週1日スクールカウンセラーを配置しています。また、小学校においては、区独自で小学校の実情に応じて週1回以上、スクールカウンセラーを派遣します。

(2) 専門家チームの設置などを検討

◇LDなどの判断や専門的な意見の提示や助言を行う専門家チームの設置や教育センター相談員による積極的な学校への巡回する教育相談体制を検討します。

### 5 大田区エリアネットワークを構築

◇大田区内の教育・福祉・医療・保健・労働などの関係諸機関が連携し、LDなどを含む障害のある幼児・児童・生徒の乳幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を推進するため、大田区エリアネットワークを構築します。  
◇大田区エリアの中核的機関となる矢口養護学校(センター校)や城南養護学校、田園調布養護学校などと区立小中学校が日常的なパートナーシップを形成し、エリアネットワーク会議を開催します。

## II 学校における特別支援教育体制の整備

### 1 校内委員会の設置

◇全ての区立小中学校に校内委員会を設置し、全校で取り組む体制を強化します。

### 2 特別支援教育コーディネーターの指名

◇校長は校内における特別支援教育の推進役として、教員の中から特別支援教育コーディネーターを指名します。校内委員会での推進役、担任への支援、保護者や関係機関との連絡・調整などを担います。

### 3 個別指導計画に基づく指導の充実

◇学校はLDなどを含む障害のある児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに対応した具体的な指導内容・指導方法を示した「個別指導計画」を作成します。

### 4 個別的教育支援計画を策定

◇今後、エリアネットワークを構築する中で、

乳幼児期から学校卒業後まで一貫性のある支援を行うため、区立小中学校や特別支援学校・福祉・労働関係・医療・言語・聴覚・心理などの専門家の関係機関が連携し、「個別的教育支援計画」を作成します。

### 5 関係機関との連携

(1) 区内の幼稚園、保育園などとの連携  
◇小学校は、子どもの就学前機関での様子や指導の状況などの情報を引き継ぎ、入学後の指導・支援に生かすため「就学支援シート」を活用します。

(2) 特別支援学校及び関係機関との連携  
◇大田区エリアネットワークを構築する中で、特別支援学校や医療・保健・福祉・労働などの関係機関と連携し、乳幼児期から学校卒業後までの一貫した支援体制を進めます。



## III 障害のある児童・生徒と地域とのかかわりの充実

### 1 地域指定校による副籍の取組み

◇特別支援学校に在籍し、副籍を希望する児童・生徒が、居住する地域の指定校である区立小中学校とのかかわりを深めるため、副籍を導入し、地域指定校における交流活動を実施します。

◇地域のセンター校としての機能が求められている特別支援学校などから、区立小中学校

への助言・支援体制を確立します。  
◇特別支援学校教員と区立小中学校教員の研修の相互参加を推進します。  
◇区立小中学校の教員と特別支援学校の教員の相互の学校訪問を促進します。  
◇副籍、地域指定校などについては、特別支援学校と連携して「実施要領」を策定し推進します。



## IV 相談及び支援体制の整備

### 1 総合的な支援体制を確立

◇障害のある児童・生徒にかかわる相談や支援については、教育・医療・保健・福祉・労働などの関係機関がかかわって継続的に支援する体制を整備します。  
◇学校を支援する組織として専門家チームを位置付けることを検討し、学校及び関係者への助言を行います。

### 2 就学相談の改善

◇就学にあつては、就学前の家庭や幼稚園、保育園における子どもの状況が学校へ十分に

伝わるよう充実を図ります。  
◇今後、LDなどのニーズに応えるため、きめ細かに就学を支援していきます。

### 3 在学中の相談体制の整備

◇就学後、担当教員以外にスクールカウンセラーや教育相談室、医療機関などの相談先を有機的に機能させ、在学中の相談体制の充実を図ります。



## V 教職員の専門性及び資質の向上

### 1 学校内外における特別支援教育の研修の充実

◇教員の専門性の向上や校内体制の整備を進めていくため、校内研修を組織的にすすめます。  
◇校外研修として以下の研修を実施します。  
●特別支援教育コーディネーター養成研修

- 小中学校の管理職・主幹・主任などの職層に応じ研修
- 初任者研修・10年経験者研修における研修
- 通常の学級担任研修
- 小中学校の特別支援学級担当教員研修
- スクールカウンセラーの研修
- 大田区エリアネットワークにおける研修

## VI 特別支援教育への理解啓発

### 1 児童・生徒への理解啓発活動

◇障害の有無にかかわらず、児童・生徒が互いを認め合い、支え合うように指導するなど特別支援教育の理解啓発に努めます。

### 2 保護者・区民への理解啓発活動

◇特別支援教育の意義や基本方針をはじめ、制度や取組み内容など広く保護者・区民への理解啓発活動を進めます。

## 館山養護学校の名称が館山さざなみ学校に変わります

館山養護学校は、ぜん息・肥満・病虚弱・偏食などの小学校3～6年生の健康回復の場として、開校以来成果を上げてきました。

平成19年4月1日、特別支援学校として再出発するにあたり、病虚弱児童の健康の回復・促進を図る学校であることのさらなる周知と、より一層児童の入学を促すため、校名を変更することとなりました。新しい校名は「大田区立館山さざなみ学校」です。

新しい校名選定にあたっては、親しみやすさ、立地、自然環境、設立目的を踏まえて決定しました。学校周辺の環境は、四季を通じて温暖な気候に恵まれ、校舎は太平洋の波を眼下に望む高台にあります。児童は雄大な太



平洋へと続く南房総のおだやかな海と伊豆の島々を見渡しながら、日々規則正しい全寮制の学校生活を送っています。健康の回復、運動機能の向上や自立心・忍耐力を育てていく児童を励まし、見守る優しい海を校名に取り入れました。

## 平成19年4月から 大田区立図書館に指定管理者制度が導入されます

大田図書館(中央館)と休館中の入新井図書館を除く下表の14の地域館は、図書館業務及び施設の管理運営を民間事業者が指定管理者として行います。各指定管理者は、民間のノウハウや知識を活用して、さらなるサービス向上を図ってまいります。

### ◆指定対象の図書館と指定管理者

	図書館	指定管理者	休館日
1	大森南	テルウェル東日本(株)	第3(木)
2	大森東	(株)有隣堂	第2(木)
3	大森西	特定非営利活動法人大田教育支援の会	第3(木)
4	馬込	共同事業体丸善グループ	第3(木)
5	池上	共同事業体JCS/NBMグループ	第2(木)
6	久が原	特定非営利活動法人大田教育支援の会	第3(木)
7	洗足池	共同事業体丸善グループ	第2(木)
8	浜竹	特定非営利活動法人大田教育支援の会	第2(木)
9	羽田	共同事業体JCS/NBMグループ	第3(木)
10	六郷	(株)ブックチェーン	第3(木)
11	下丸子	(株)ヴィアックス	第3(木)
12	多摩川	(株)ブックチェーン	第2(木)
13	蒲田	共同事業体JCS/NBMグループ	第2(木)
14	蒲田駅前	(株)図書館流通センター	第3(木)

※大田図書館は、従来どおり月3回〔第1・3(月)、第2(木)〕の休館日となります。

※休館日が祝日の場合はその翌日が休館日となります。

【問合せ先】 大田図書館 電話 3758-3051 FAX 3758-3625

## あなたの学習成果を 学校支援ボランティアで 活用してみませんか?

### 学校支援ボランティアとは……

地域の教育力を学校に導入し、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、学校教育の活性化を図ることを目的としています。

### 主な活動は……

花壇・樹木の手入れ、清掃活動、図書の整理、本の読み聞かせ、授業の補助、道徳講話、体験学習補助、カウンセリングや児童への個別対応などがあります。

### 登録の方法は……

社会教育課に所定の申込書があります。原則として無報酬、登録期間は2年となります。

### 活動場所は……

区内の幼稚園・小中学校です。学校支援ボランティアの活動を希望する学校などから、直接依頼の連絡をいたします。  
※この事業は学校などの必要に基づいて進められるため、必ず依頼があるとは限りません。

【問合せ先】 社会教育課社会教育担当  
電話 5744-1443 FAX 5744-1539

1月31日、今日は西蒲田保育園の子どもたちが楽しみにしていたおはなしの会です。0歳から6歳の100名の子どもたちが、遊戯室に集まってきました。だんご虫おはなしの会の秋山さん、新開さん、山田さんが子どもたちを出迎えます。どちらの顔にも、これから始まる出来事への期待の笑顔が輝いています。

だんご虫おはなしの会は、平成3年、馬込文化センターの保育付講座「子ども本の朗読講座」をきっかけにスタート、現在15名の会員で活動しており、年40回程度、小学校などで出張おはなし会を行っています。出張おはなし会は、会員一人ひとりが持つ、地域のつながりをもとに始



めました。活動を始めて何年ですかとの質問への「幼稚園だった子が大学生になったから、10年かしら…」という返事に、子育てをしながら母親の視点を大切に活動されてきたことがわかります。  
約1時間のおはなしの会、小さな子も飽きることなく、おはなしに引き付けられています。見たこともないような大きな絵本、魔法のポケットからいろいろなものが飛び出すエプロンシアター、木のぶつかり合う音がぬくもりを伝える積み木シアターなど、目から、耳から、子どもたちの感性を刺激します。  
さあ、そろそろ終わりの時間が近づいてきました。子どもたちの「うわあー」という歓声が「いっやあー」に変わります。

## おはなしに リボンをかけて…

### だんご虫おはなしの会

だんご虫おはなしの会のみなさんは言います。おはなしの会は、自らの修行の場、子どもたちが素直に反応してくれる時が一番うれしい、つまらない時はつまらない、楽しい時は楽しい、それが次の学習につながります。これからも、仕事や家庭の時間をやりくりして、おはなしにリボンをかけて、子どもたちに夢を届けます。

### 教育委員会の主な議題

- 平成18年第11回定例会
- 区指定無形民俗文化財の指定について
- 平成18年第12回定例会
- 幼稚園教育職員の地域手当に関する規則の一部を改正する規則
- 幼稚園教育職員の初任給、昇格及び昇給等に関する規則の一部を改正する規則
- 大田区立図書館の指定管理者の指定について

### 教育委員会 定例会の予定

平成19年4月から6月までの開催予定日は、次のとおりです。

- ◇日時  
平成19年4月27日(金)  
平成19年5月30日(水)  
平成19年6月27日(水)
- ◇時間  
いずれも午後2時からです。
- ◇場所  
本庁舎6階 教育委員会室

※日程が変更になる場合があります。事前にお問合せください。区のホームページでもご覧いただけます。  
庶務係 電話(5744)1422

### 表彰

次の児童・生徒のみなさんが立派な成績をおさめられました。

- ◆心の東京革命「食事と家族のふれあい体験事業」 絵部門「知事賞」 久原小4年横山彩人
- ◆同「ふれあい賞」 小池小5年伊藤寛 同2年太田紀香・保坂美朋
- ◆第15回環境作文コンクール 東京都知事賞 山王小6年中曾根巨
- ◆第56回「社会を明るくする運動」作文コンテスト 東京都実施委員会委員長賞 出雲小6年西館麻由

### おおたの教育はホームページからもご覧になれます

おおたの教育のホームページアドレスが変更になりました。  
新しいアドレスは、<http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/tekisei/otanokyouiku>です。